

INFORMATION

公開イベントのお知らせ

■ 学校見学会(要予約)	令和5年 8月18日(金)
■ 第一回学校説明会(要予約)	令和5年10月21日(土)
■ 第二回学校説明会(要予約)	令和5年11月11日(土)
■ 第三回学校説明会(要予約)	令和5年12月 9日(土)
■ 文化祭	令和5年10月28日(土)~29日(日)
■ 授業体験会(要予約)	令和5年 9月30日(土)
■ 授業公開日	令和5年11月11日(土)
■ 課題研究発表会	令和6年 2月 5日(月) 機械システム系列 令和6年 2月 6日(火) 情報テクノロジー系列 令和6年 2月 7日(水) 電気システム系列 令和6年 2月 8日(木) 情報デザイン系列

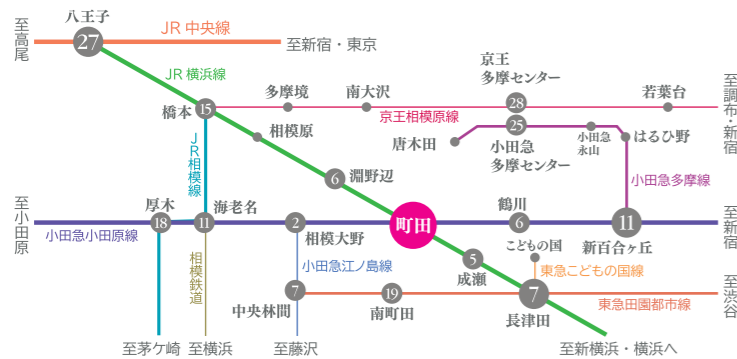
※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程等が変更になることがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。



ACCESS

交通案内

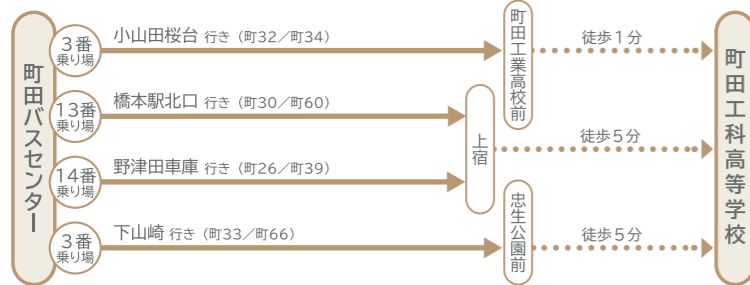
■ 主な駅から町田駅までの乗車時間



■ 学校周辺地図



■ 町田駅(小田急線・JR横浜線) 町田バスセンターから



東京都立町田工科高等学校 〒194-0035 東京都町田市忠生1-20-2 TEL:042-791-1035(代表) FAX:042-794-0443
E-mail:S0740790@section.metro.tokyo.jp ホームページ:http://www.machidakogyo-h.metro.tokyo.jp

※コロナ感染症対策を徹底して撮影しています
※写真撮影:長島健(情報テクノロジー系列)



携帯、スマートフォンから
アクセスしてください。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2024 東京都立町田工科高等学校

Tokyo Metropolitan Machida High School of Technology





デジタル情報技術で未来を創る!



校長
池上 信幸

18世紀に蒸気機関が発明され、機械によって工業製品の大量生産が可能となり、機関車や蒸気船により人々の生活圏が驚異的に拡大しました。家内制手工業から大規模な工場での生産へと移行し、機関車の運転手や工場を経営する会社の社員といった新たな職業も生まれ、それは、社会と生活を変革させる大変な出来事だったはずです。そうです、産業革命です。以来、工業技術が社会を支える重要な産業となりました。

現在、アメリカの学者の中には、いまの子供たちの65%は将来、現在存在していない職業に就くとの予測や、今後10年から20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高いといった予測を示している人達があります。その背景には、インターネットやIoT技術により、やり取りされる大量の情報(ビッグデータ)やAI(人工知能)技術により生み出されるデータが技術革新と結びつき、社会を激的に変えるとの判断があるからです。これらのデジタル情報技術は、私たちの生活を現に変えてきています。24時間どこでも買い物ができ、スマホ1台で世界中の人々とリモート会議で意見を交わすこともできます。AIが車を運転したり、プログラムを作成したりするといった様々な作業をしてくれる世界も遠くありません。世界はデジタル情報技術を中心に加速度的に動き始めています。

そんなこれからの社会(Society5.0)に必要なとされる、デジタル情報技術の基礎をベースに工科系の知識や技術を学ぶ学校が、都立町田工科高校の総合情報科です。本校ではIT人材の育成を目的としたTokyo P-TECH事業の東京都教育委員会の指定を受け、1年次は全員がこのプログラムを受講します。2年次からは、デザインや情報(P-TECH)、機械系や電気系といった系列を選択し、専門性を高めるカリキュラムを通して、来るべきデジタル情報社会で活躍する人材を育成していきます。さらに、東京都教育委員会による「Global Education Network20」「海外学校間交流推進校」の指定も受け、グローバルな視野を育成する取り組みも同時に展開しています。

これからの社会を支える新しい技術の世界に興味がある人は、本校を覗いてみてください。これまでとは違う学びの世界が、町田工科高校にはきっとあります。

※現在想定されている『Society5.0』の姿
「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」(内閣府のホームページより)

総合情報科

IT(情報技術)社会に対応した専門学科です。「情報」「工業」に関連する様々な分野の知識・技術を学びます。専門分野に分かれた4つの系列からひとつを選び、知識や技術を深めていきます。

情報デザイン系列

電気システム系列

情報テクノロジー系列

機械システム系列



基礎的な工業の勉強をしながら、先端技術に対応した4つの系列の学習をすべて体験します。自分の学びたい分野をじっくりと見極めることができます。

4つの系列から自分の学びたい系列を選択して、専門の学習を進めていきます。卒業後の進路に備えて技術をしっかりと身に付けます。さまざまな資格取得も可能です。

町田工科高校で身に付けた専門技術を活用して社会にはばたこう。大勢の卒業生が様々な分野で活躍しています。大学・専門学校へ進学して専門知識をより深めることもできます。

町田工科高校は、高→専→大 接続型の工科高校です。

あなたが新しい時代の主役です!
(Society5.0)

Tokyo P-TECH は
「日本初のIT教育プログラム」です。



Topic1 「日本工学院八王子専門学校との連携協定」

本校と日本工学院八王子専門学校は連携協定を締結しており、指定校推薦(Tokyo P-TECH枠)での進学が可能となっています。また、日本工学院八王子専門学校(2年制学科)を卒業後は、東京工科大学3年次への編入学の道も開かれています。

自分の進路希望によって高校から大学までさまざまな進路を実現することができます。

Topic2 「IT企業の社員による継続的なサポート」

「Tokyo P-TECH」では、米国に本社を置くグローバルIT企業の社員が、進路実現に向けて5年間の長い登り坂を一歩一歩サポートしてくれます。特に、2年生から継続的に行われる「メンタリング」では、IT企業の社員が1対1であなたの高校生活の伴走者として、進路に関するさまざまな悩みや相談などに応えながら、あなたと一緒にゴールを目指します。

Topic3 「文化・スポーツ等特別推薦の実施」

本校では、プログラミングによる「文化・スポーツ等特別推薦」を実施しています。特別推薦で入学した生徒は、2年生になるときに優先的に「情報テクノロジー系列」を選択できます。

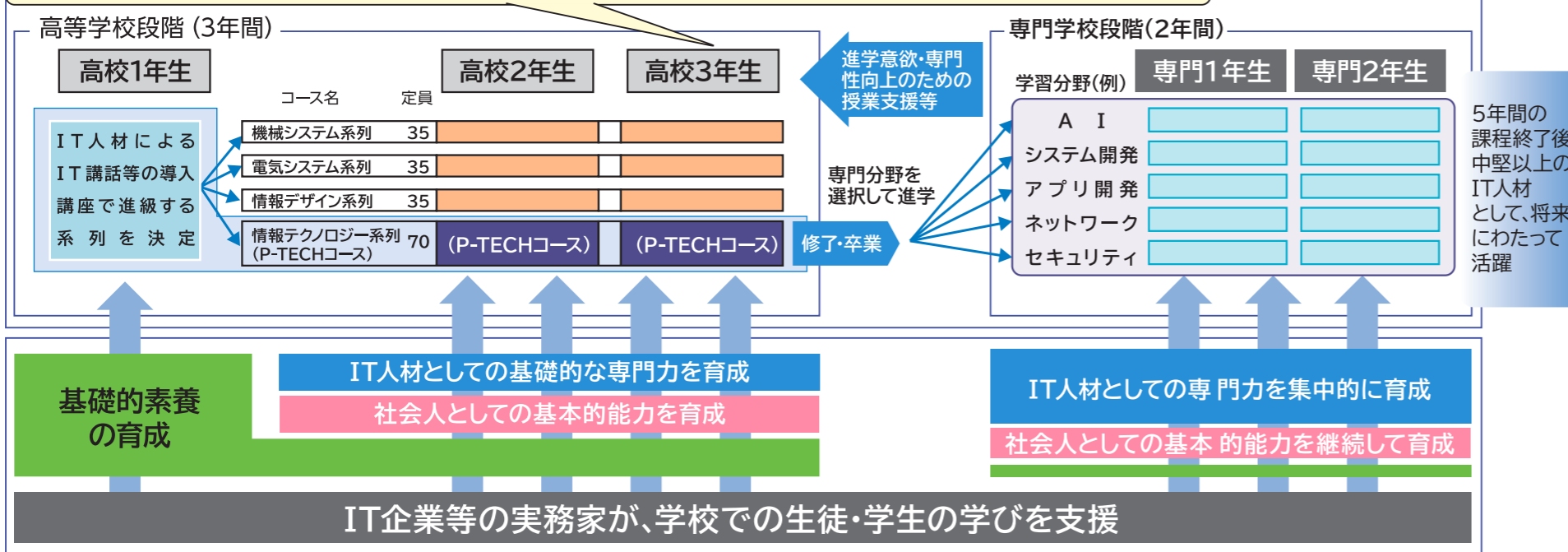
Topic4 「Global Education Network 20指定校」「海外学校間交流推進校」

本校は、東京都教育委員会から「Global Education Network 20指定校」と「海外学校間交流推進校」に指定され、グローバルに活躍できる人材育成を目指しています。

高校

専門学校

※「情報テクノロジー系列(Tokyo P-TECHコース)を選択していても、高校3年生卒業後は、大学や他の専門学校への進学、または就職をすることも可能です。



Tokyo P-TECHの様子



IT講話(先端のIT技術を知る)



授業支援(実践的なIT技術に触れる)



メンタリング(企業人が高校生活を支援)



ジョブ・シャドウイング(IT企業の仕事を体験)

※高等学校等就学支援金制度(高等学校)、高等教育の修学支援新制度(専門学校)等を活用することで安心して学べる環境を提供

CURRICULUM

時代の最先端に対応した専門技術を身につける豊かな学習内容。
TokyoP-TECH実施校・Global Education Network 20 指定校・
海外学校間交流推進校

本校の教育目標

1. 人権尊重の精神をふまえ、誠実で協調性に富む人を育てる
2. 個性を伸ばし、独創性豊かな人を育てる
3. 勤労をたっぴ、努力をおしまない人を育てる
4. 進歩する工業技術・情報技術に対応できる人を育てる

■カリキュラム

学科・系列		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年次	総合情報科	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	芸術(音楽・美術Ⅰ)	英語コミュニケーションⅠ	工業技術基礎	工業情報数理	総合情報概論	LHR																	
	情報デザイン系列	文学国語	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	実習	製図	デザイン実践	デザイン理論	必修選択	LHR	人間と社会																
2年次	情報テクノロジー系列	文学国語	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	実習	コンピュータシステム技術	情報テクノロジー	ネットワーク技術	プログラミング演習	必修選択	LHR	人間と社会															
	電気システム系列	文学国語	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	実習	電気回路	電力技術	電子技術	必修選択	LHR	人間と社会																
	機械システム系列	文学国語	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	実習	製図	機械工作	機械設計	生産技術	必修選択	LHR	人間と社会															
	情報デザイン系列	文学国語	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	実習	製図	機械工作	機械設計	生産技術	必修選択	LHR	人間と社会															
3年次	情報テクノロジー系列	文学国語	数学A	化学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	実習	デザイン実践	デザイン史	必修選択	LHR																			
	電気システム系列	文学国語	数学A	化学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	実習	情報テクノロジー	情報セキュリティ	必修選択	LHR																			
	機械システム系列	文学国語	数学A	化学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	実習	電力技術	電子技術	必修選択	LHR																			
	情報デザイン系列	文学国語	数学A	化学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	実習	機械工作	機械設計	必修選択	LHR																			

■必修選択

年次	教科	数学	外国語	芸術	家庭	情報デザイン系列	情報テクノロジー系列	電気システム系列	機械システム系列
2年次	数学B	論理・表現Ⅰ	音楽Ⅱ	服飾手芸	応用デザイン	コンピュータデバイス	製図	機械基礎製図	
			美術Ⅱ		コンピュータデバイス	情報関連技術	コンピュータデバイス	コンピュータデバイス	
3年次	国語表現	論理・表現Ⅱ	日本史探究	政治・経済	物理	保育基礎	応用デザイン	情報ビジネス	実習
			世界史探究				デザイン演習	ネットワーク実践	電気機器
							ネットワーク基礎	プログラミング応用演習	ネットワーク基礎
								ビジュアルデザイン	ロボット製作
							データサイエンス		ネットワーク基礎
							情報処理技術		

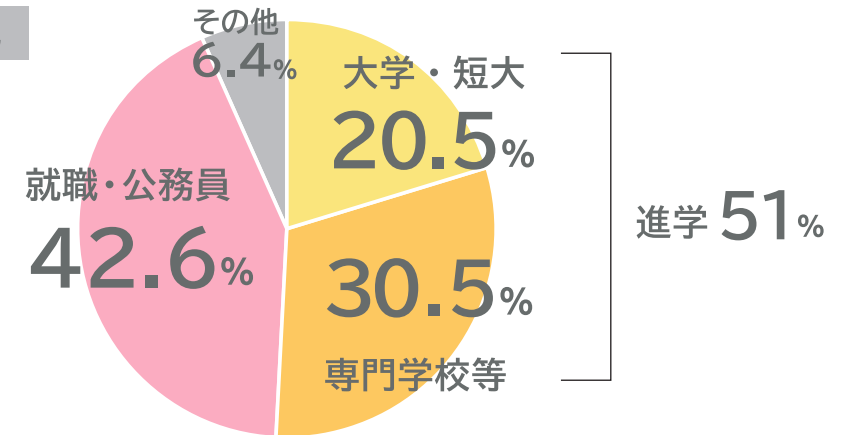
アドミッション・ポリシー（求める生徒の姿）

- 1 本校の特色を十分に理解し、本校での学習に明確な目的意識や希望をもっている生徒
- 2 主にコンピュータ活用に関する科学技術分野に興味・関心があり、意欲的に学習する生徒
- 3 工業に関する資格取得に興味・関心をもち、入学後もその取得に向けて意欲的に取り組む生徒
- 4 出席状況が良好で、学校や社会の規則を守り、毎日の学校生活で粘り強く努力を重ねる生徒
- 5 学校行事や部活動、生徒会活動等に積極的に取り組み、豊かな人間関係を育む生徒
- 6 人を思いやり、協力して物事に取り組み、社会に貢献する意識のある生徒

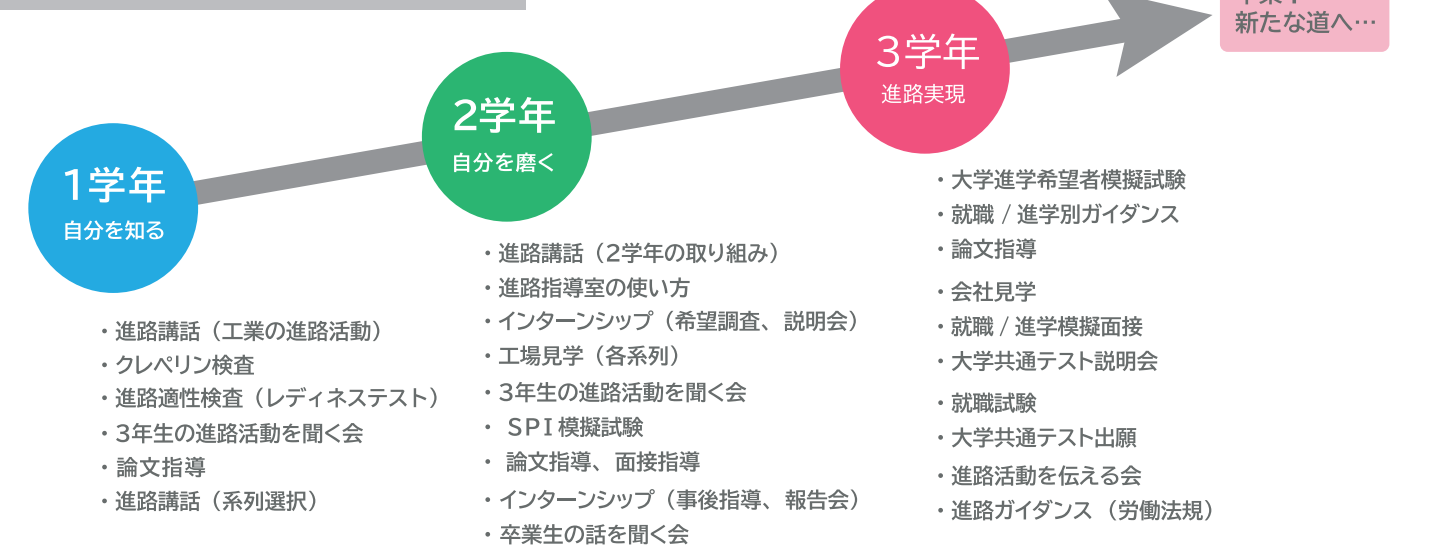
COURSE

進学や就職など希望する進路の実現をサポートします。
全教員が生徒一人ひとりにきめ細やかな指導や相談を行っています。

令和4年度 卒業生進路状況



3年間の進路指導（キャリア教育）



町田工科高校
GLOBAL!

「町エグローバルITエンジニア育成プログラム」

AI、IoT、ビッグデータなど新たな技術の登場によって、現在、第4次産業革命と言われるほど産業界が大きく変化しています。「町エグローバルエンジニア育成プログラム」は、このような技術により新たな社会Society5.0でもグローバルに活躍できるエンジニアの育成を目的に実施しています。

学習内容は、AI、IoTなど新しい技術のことや、IT・ものづくり産業界を取り巻く状況の変化、SDGs、国際文化、国際支援活動など、これからのエンジニアに必要な知識や教養を幅広く身につけていきます。また、海外スタディツアーや国内の企業見学など、様々な体験活動も豊富に行っています。

海外学校間 交流推進校

国際感覚の醸成や同世代の生徒間交流による異文化の促進を図るため、海外の学校と交流する「姉妹校交流推進校」に指定されています。本校はベトナムのフォンドン（PHUONG DONG）大学との間で、姉妹校提携を締結しています。



キムリエン高校の生徒との交流



NTTデータベトナムと実施したフィールドワーク

進学



令和4年度 情報デザイン系列卒業
駒沢女子大学 人間総合学群
住空間デザイン学類 野口 花桜さん

私は当初就職希望でしたが、親や先生から話を聞き、大学でもっと学びたいと思うようになり進学を決めました。学部を決めた理由としては、「建築CAD検定」を取得しており、建築士を目指そうと考えたためです。また、「色彩検定」を取得しており、その分野であるインテリアにも興味を持っていたため、建築学科ではなく住空間デザイン学類を志望しました。他の人より進路活動開始が遅かったため、急いで大学見学から始めました。合格決定までに資格勉強、テスト、学校見学、資料提出など様々なことが重なり、3年間の学校生活の中で一番忙しく辛い時でした。その中でやって良かったと感じたことは、テストの順位で上位をとる。大学時、就職時に使える資格を取得する。入試面接時にはプレゼン資料を持っていく。これらを準備することで面接官との会話にも困らず、印象に残ります。入学後に面接官の先生と入試面接時の話をしたところ、覚えて頂いていました。この3つの準備が私を助けてくれました。

この時期は精神的・身体的にも辛いことが多いので、多くの人に相談をすると楽になれます。自分が得をする話を聞けることもあります。使える情報、人はすべて使いましょう。無理しすぎないようにしてください。応援しています。



令和3年度 情報デザイン系列卒業
和光大学 表現学部芸術学科 萩野 花姫さん

私は指定校推薦で和光大学の表現学部芸術学科に合格しました。この進路を選んだ理由は、町田工業高校の情報デザイン系列で学んだ知識を深めつつ、芸術的な分野にも挑戦してみたかったからです。

私は指定校推薦をとるために、1年生の頃から勉強を頑張ってきました。また、提出物の期限は必ず守ること、授業は休まずに出席することを心がけました。試験が近づくと、色々な先生に面接練習をお願いしました。デザインや芸術関連の質問に強くなれるように、専門教科の先生方にたくさん練習していただきました。

振り返ってみると、1年生の頃からの積み重ねが大切だと感じました。個人的には2年生からでも遅くはないと思っているので、「自分には無理だ」と決めつけず、挑戦してみるといいかもしれません。高校生活の充実、そして受検の成功を応援しています！



令和4年度 情報テクノロジー系列卒業
神奈川工科大学 情報学部情報工学科 若林 翼さん

私は、指定校推薦で神奈川工科大学に合格しました。進路活動をする上で重要なことは、将来自分がどうなりたいのかしっかり考えることです。私は漠然と「情報系の仕事に就きたい」と思っていました、具体的にどんな職業で、どんな分野を学びたいかをしっかりと絞り込むことが大変でした。最終的には、高校で学んだ知識をさらに深堀することができ、さらに昔から興味があった AI 技術について学ぶことができる進路先を志望しました。

町田工科高校に入学したいと思っている受験生の皆さん、少しでもいいので自分がどんな仕事に就きたいのかななどを考えておくことを強くお勧めします。



令和3年度 情報システム系列卒業
東海大学 工学部応用化学科 折原 潤さん

進路活動では、家族や先生方、自分自身とよく相談することが大切だと感じました。周りの人がもつ自分にはないアイデアや経験を参考にするのも、自分の進路を決める材料の一つになると思いました。

志望理由書を書く時や、面接練習でも、自分だけで考えるのではなく周りの人に相談することが大切だと思います。志望理由書は国語の先生に、面接練習は多くの先生に指導していただきました。自分のやりたいことをしっかり決め、周りの人を納得させる説明ができるようにしておくことが大事だと思います。

少しでも心配なことや不安があったら、周りの人に相談して、助けてもらうのがいいと思います。中学生のみなさんにも、自分の「やりたい」を納得した形で表現してほしいです。

(※旧・情報システム系列は、現在の『情報テクノロジー系列』になります。)

就職



令和4年度 電気システム系列卒業
株式会社関電工 服部 隼磨さん

私が進路について考え始めたのは高校2年の中頃でした。当時私は第二種電気工事士の筆記試験に合格し、技能試験の練習をしていました。先生から「あなたは体育会系で忍耐力もあるし、関電工を受検したらどうか」とアドバイスをいただいたことが、この会社を調べるきっかけとなり、進路を決めました。

入社試験では、筆記のSPI、実技の基礎的な電気工事、面接の3つを行いました。SPIの筆記試験対策は筆記用の本を買い、自宅で行いました。また実技の電気工事は、学校で放課後1時間ほど練習をし、面接は先生方に声をかけ、放課後に練習に付き合ってくださいました。自分の努力が実を結び、内定をいただいた時はとても嬉しかったです。

後輩の皆さん、実社会に出たら目上の方への挨拶や話し方、態度がとても大切になります。学生である今のうちに、先生や先輩など目上の方にしっかりと態度で接するように心がけて頑張ってください。



令和4年度 情報テクノロジー系列卒業
オムロン キリンテクノシステム株式会社 岩中 雅斗さん

私が就職先の会社として オムロン キリンテクノシステムを選んだ理由は「検査機を通して、私たちの飲料が安全に、安心して飲むことができるようにする」という仕事の内容に感動したからです。

就職活動が本格的に始まったときは、自分がどんなことを考えているのか整理がついておらず、先生方にもご迷惑をおかけしたと思います。それでも、最後まで真剣に話を聞いてくださったおかげで、この会社に出会うことができました。

会社見学では、何よりも第一印象を大切に考えていたため、とても緊張しました。

試験に向けては、計算速度や、素早く内容を読み取るという練習をしており、数を積まないと早くならないので、大変でしたが、先生の言葉や、自分の努力が報われると信じて最後まで回数を重ねていきました。

そうして内定の通知を頂き、入社した今、私は、情報システム課の一員として働いています。情報システムの観点から、社員の働く環境を整えると共に、セキュリティに対するリスク対策も行っていく業務です。検査機の製造に直接関わる仕事ではありませんが、自分の仕事に誇りを持ち、会社に貢献しようと思っています。



令和4年度 機械システム系列卒業
三菱重工株式会社 相模原製作所 立石 歩暉さん

町田工科高等学校は、学校に来た求人票の中で、就職を希望している会社が他の人と被ったら成績が高い方が優先して受けられるシステムです。ですから、学校生活を頑張れば頑張るほど、より多くの会社から自分に合った会社を探し、選ぶことができます。成績を上げるための勉強は、入学直後から絶対にやっておいたほうがいいです。

就職試験ではどの会社も面接を行います。ここで重要なのは、面接練習を何回もやる事です。私は、この会社に就職したいと決めた日から毎日面接練習をし、改善点するべき点が無くなるまで何回もやり続けました。その結果、面接本番では全ての質問にちゃんとした受け答えをする事ができました。

町田工科高等学校から就職して夢を掴みましょう！頑張ってください！！



平成30年度 電気システム系列卒業
東京地下鉄株式会社 関根 大樹さん

私は社会に貢献し今まで学んできた電気の知識を生かせる仕事に就きたいと考え、鉄道業界に入ることを決めました。

数ある鉄道会社の中でも、一日に500万人以上のお客様が利用し東京になくてはならない存在であるということと、多くのお客様を安全に輸送するため、変電、電路機械、信号通信など専門的な知識を生かし安心と安全を守らなければいけないという重要な仕事だと思い、東京メトロを志望しました。

私の所属する電気部 南北線信通区では、電車を安全に走らせるため、また、駅業務を円滑に進められるように信号や通信をはじめとした設備等の点検を日々行っています。

列車運行を行っていない終電から始発までの間に作業を行うこともあるため、限られた時間の中で安全に正確に作業を行うことが求められます。

運転士や駅員と違い、お客様に直接感謝されることはありませんが、多くのお客様の生活を裏で支えているということに誇りを持って仕事をしています。

町田工科高校では資格取得を行える環境が整っており、就職対策や指導などもしっかり行ってくれます。私は町田工科高校で電気の専門知識や人の関わり方など多くのことを学びました。

情報テクノロジー系列



Society5.0時代のIT技術者として必要なAIやデータサイエンス、ネットワーク、セキュリティに関する最先端のITスキルを身に付けます。

■主な専門科目

2年次

実習

情報テクノロジーの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる基本的な能力と態度を身に付けます。

ネットワーク技術

TCP/IPプロトコルなどネットワークに関する基礎的な知識と取扱いに習熟し、実際に活用できる技能と態度を学びます。

情報テクノロジー

電気・電子に関することや情報の基礎理論など、先端IT技術を探究するために必要となる工学の基礎を総合的に学びます。

プログラミング演習

プログラミングの基礎や、コーディングとデバッグ、アルゴリズム設計、基本的なプログラムの作成技法を学びます。

コンピュータシステム技術

コンピュータシステム技術やネットワーク技術、データベース技術、マルチメディア技術などのコンピュータシステム技術に関する知識と技術を学びます。

コンピュータデバイス

SDGsや環境問題などの社会課題を、マイコンやセンサなどコンピュータデバイスを活用して解決策を考える学習を通して、国際感覚と実践的なITスキルを身に付けます。

情報関連技術

ビジネスで必要となるオフィスソフト（Word、Excel、PowerPointなど）の活用技術を中心に情報関連の技術を学びます。

3年次

実習

情報テクノロジーの主な専門分野に関する高度な技術を実際の作業を通して総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる応用的な能力と態度を身に付けます。

情報セキュリティ

情報セキュリティに関する基礎的な知識と取扱いに習熟し、実際に活用できる技能と態度を学びます。

情報テクノロジー

ニューラルネットワークや画像認識などに関する知識や技術を学びます。また、事業に応用する能力を身に付けることも目指します。

ネットワーク実践

Cisco Networking Academyの教材を使用して、ネットワークに関する実践的な知識と技術を学びます。実際に活用できる高度な技能と態度を身に付けます。

ネットワーク基礎

ネットワークに関する知識と技術を基礎から学びます。情報テクノロジー系列以外の生徒が対象になります。

課題研究

情報テクノロジーに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題解決能力や主体的、創造的な学習態度を身に付けます。

プログラミング応用演習

機械学習、ディープラーニングやIoTに適したPythonによる実践的なプログラミングを学びます。

データサイエンス

膨大なデータ（ビッグデータ）を分析し活用するために必要な統計学の知識やデータ解析の手法などを実践的に学びます。

■卒業後の進路

高校3年間で身に付けた最先端のITスキルを生かして、指定校推薦やAO入試で大学や専門学校へ進学します。「Tokyo P-TECH」連携校である日本工学院八王子専門学校に進学し、さらに専門的なIT技術について学ぶこともできます。

また、IT人材不足が社会問題となっている中、情報テクノロジー系列で身に付けた専門性を生かした就職も期待されています。



■教員からのメッセージ

「Tokyo P-TECH」を中心的に実施する系列です。世界的なIT企業や専門学校と連携して、次世代のIT人材として必要な知識・技術を実践的に身に付けます。本校が日本初となるこの取組は、すでに多くのマスコミや企業からも注目されています。ぜひ、一緒に学習してみませんか？



情報デザイン系列



ポスター、イラスト、コンピュータグラフィックス、立体造形などのデザインについて学びます。

■主な専門科目

2年次

実習

デザインの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

製図

製図の日本産業規格及びデザイン製図に関する知識と技術について学びます。

デザイン実践

デザインの基礎をはじめ、ビジュアルデザイン、プロダクトデザインなどについて学びます。検定の勉強もします。

デザイン理論

全般的なデザインと色彩調和の理論や基本的な色彩心理や色彩構成、マーケティングやコンピュータデザイン等の代表的な企画について学びます。

2年次

構成技術や構図のバランス、色彩構成の技法、工業製品を元にした平面構成の演習を行います。

3年次

実習

デザインの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

デザイン実践

2年次に学んだデザイン実践を基礎に環境構成デザイン、デザイン企画などの知識を学びます。

デザイン史

造形とデザインの歴史を理解し、実際に創造し鑑賞する能力と態度を学びます。

応用デザイン

視覚的な表現伝達の活用、商用デザインに関する技能やプロダクトデザインの概要、工業製品のデザインに関する技法、手仕事における造形表現の手法を学びます。

3年次

デザイン演習

メディアや構成の基礎について学びます。スタジオのブルーバックで撮影し、パソコンで画像や動画の編集を行います。

課題研究

デザインに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を学びます。

■卒業後の進路

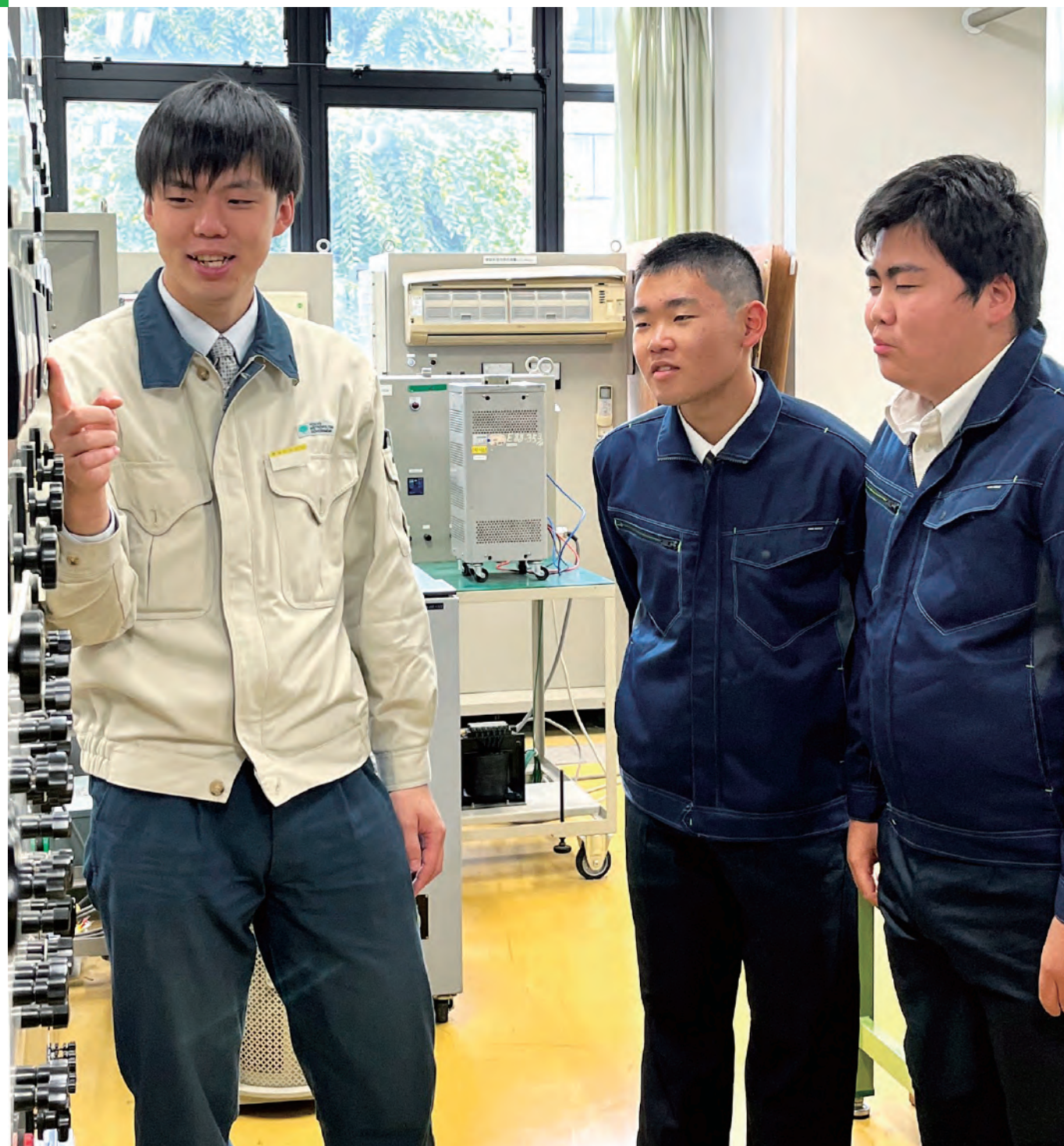
情報デザイン系列では、進学が8割、就職が2割と進学が多くなっています。進学の中でも、大学が4割、専門学校が6割です。大学では、美術系、デザイン系、建築系の他、情報系、各種文系に進学、専門学校では、デザイン系をはじめCG、情報、美容といった幅広い分野に進学しています。大学進学では、授業などで制作した作品を生かした入試にも取り組んでいます。就職では、事務系、生産系、販売系など、女子生徒も多いことから、様々な職業に就いています。

■教員からのメッセージ

デザインという分野は非常に広く、世の中のすべての物にデザインが関わっていると言ってもいいくらいです。本校の情報デザイン系列では、デザインの代表的な分野であるプロダクトデザイン、ビジュアルデザイン、環境構成デザインの基礎、色彩の理論等を勉強します。実習においては、それぞれの分野の基礎から応用まで実際の作業を通して技術を習得していきます。情報デザイン系列としては、本校で学んだデザインの基礎を基に上級学校への進学を目標としています。



電気システム系列



電気・電力に関する知識と技術を学び、電力システムを活用できる能力を身に付けます。

■主な専門科目

2年次

実習
電気システムの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

電子技術

電子技術の概要や、半導体素子、増幅回路であるアナログ回路、論理回路に使われるデジタル回路などを学びます。

製図

製図の日本産業規格及び電気製図に関する知識と技術について学びます。

電気回路

直流回路や磁気と静電気、交流回路などの電気に関する基礎的な知識と技術について学びます。

電力技術

水力・火力・原子力などの発電方式、電力を届ける送電・配電、変電、屋内配線、電気関係法規を学びます。

3年次

実習

電気システムの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

電気機器

直流機器や交流機器、電気材料、パワーエレクトロニクスなどの電気機器の知識と技術について学びます。

電子技術

電子技術を利用した回路、有線・無線通信システム、音響・映像機器、電子計測などの基礎を学びます。

電力技術

照明と光源、電熱、工業に通じる電気化学、輸送を担う電気鉄道、家庭用電気機器、自動制御方法について学びます。

課題研究

電気システムに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を学びます。

■卒業後の進路

電気工事、電力設備の保守、ビルメンテナンスなどの業種へ技能職として就職を目標としています。



教員からのメッセージ

普段から意識せずに使っている電気というエネルギー。この目に見えない電気の「使う」「送る」「作る」システムについて学びます。どこか一箇所でも欠けると流れない厄介者をコントロールする技術は、「実習」という経験で身に付け、その成果は「第二種電気工事士」という資格取得に現れます。



機械システム系列



機械・電気・電子などの技術を
少しずつですが、体験しながら学ぶことができます。

■主な専門科目

実習

自分の手や足を動かし、実際に機械や工具・測定機器を使って作業を行い、機械技術に関する科目の総合的な学習を通して、工業技術者として望ましい態度と習慣・技術を身に付けます。

機械工作

機械は多くの部品から成り立っており、そのしくみや機械を作るさまざまな技術を学び、また、機械に使用されている材料の基本的な材質を学びます。

機械設計

機械に働く力や運動を理解し、使用されている材質の強さなど機械を設計するために必要な、基本的な知識と技術を学びます。

製図

設計した人間が製作を依頼する時、言葉や文章で伝えるだけではなく図面を用いると分かりやすく伝えられます。図面を正しく作成し、読む技術を学びます。

2年次

生産技術

ものづくりの生産工程に必要な電気や電子・メカトロニクス・機械材料技術・生産管理など、機械全般以外の基本を学びます。

課題研究

課題を発見し、その課題の解決に向けて学習をすることにより専門的な技術・知識を深め、総合的な技術力の向上を目指し問題解決力や自発的な学習態度を身に付けます。

実習

機械・電気・電子・制御の分野に関する技術を実際の作業を通して学びます。また、技術の進歩に主体的に対応できる知識・能力・態度を身に付けます。

製図

平面の図面を作成するにあたり製図に関する規格を学びます。また、図面を効率よく作成するためCAD(コンピュータ援用設計)システムを学習します。

機械設計

機械力学を通じ、機械を構成する各部品、ボルト・ナット・ねじなどの強度を学習します。また、歯車・ベルト・チェーンにおける力の伝達についても学びます。

3年次

機械工作

機械に関する各種の工作方法の特徴から材料を切削する条件や切削理論、工作機械の構造を学び、機械加工への理解をさらに深めます。

■卒業後の進路

就職活動を中心に進路を考えている生徒が8割、2割が専門学校や大学進学を目指しています。希望の進路を実現するためには、高校での3年間、授業・部活動・学校行事等に積極的に参加することが大切です。企業が望む高校生は健康であり、マナーを守り、一般常識がある積極的な生徒です。機械システム系列では、このような生徒を育てます。



■教員からのメッセージ

私たちの身の回りには、金属で作られた工業製品がたくさんあります。例えば自動車がその一つです。自動車は何万点からの部品で構成されており、その基本となるのが機械工学の勉強です。

機械システム系列では、材料の性質や強度計算をはじめ、製図やCAD、汎用機械を使ったものづくりの基礎から、パソコンを使った簡単なプログラムなど、アナログからデジタルまで幅広く教えます。

私たち教員は、学習の基礎・基本を重視すると共に人間性を育て、世の中に貢献できる生徒を社会に送り込むことを目標にしています。機械のことに興味ある中学生、ぜひ一緒に勉強しましょう！



学校行事

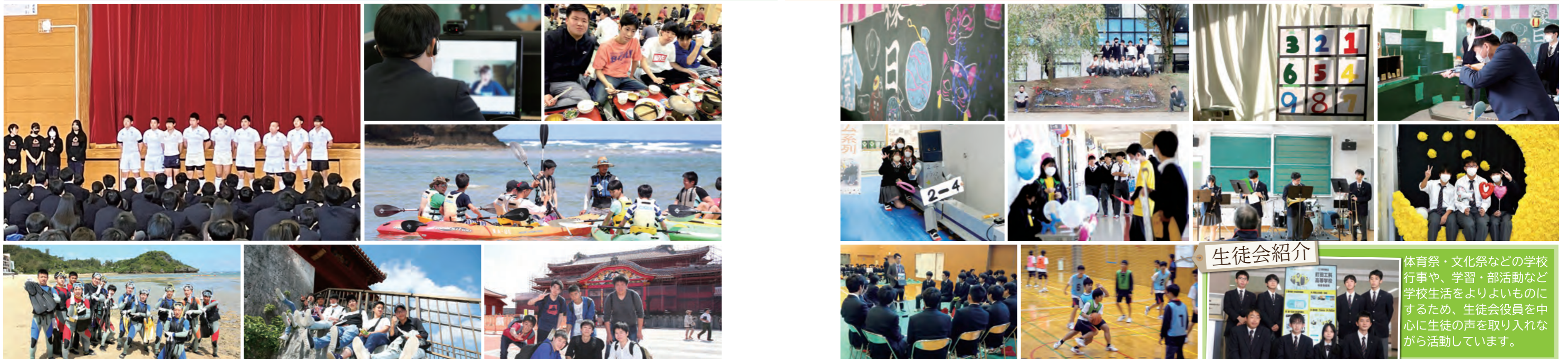
SCHOOL LIFE

かけがえのない友人との出会い。忘れられない思い出。
町工には、3年間の高校生活を彩るさまざまなイベントが目白押しです。



4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
<ul style="list-style-type: none"> ■ 入学式 ■ 1学期始業式 ■ 1学年交通安全教室 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1・2学年遠足 ■ 3学年修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通安全教室 ■ セーフティ教室 ■ 保健講話 ■ ベトナムスタディツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夏休み 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2学期始業式 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2学年工場見学 ■ 芸術鑑賞教室 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通安全教室 ■ 冬休み 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3学期始業式 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マラソン大会 ■ 2学年インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業式 ■ 春休み

※行事予定は例年のモデルケースです。



生徒会紹介

体育祭・文化祭などの学校行事や、学習・部活動など学校生活をよりよいものにするため、生徒会役員を中心に生徒の声を取り入れながら活動しています。

制服
実習服

SCHOOL UNIFORM

大事な3年間の一日一日の生活を彩る制服の紹介です。

Winter Style



紺色のブレザーとグレーを基調としたチェックのストラック
スとスカートが、シックで上品な印象を与えます。

Summer Style



男女とも白いシャツにネクタイとリボンで爽やかなイメー
ジの夏服です。ベストの着用は自由です。

Variation



女子は、スカートとストラックスを自由に選択できます。

実習服

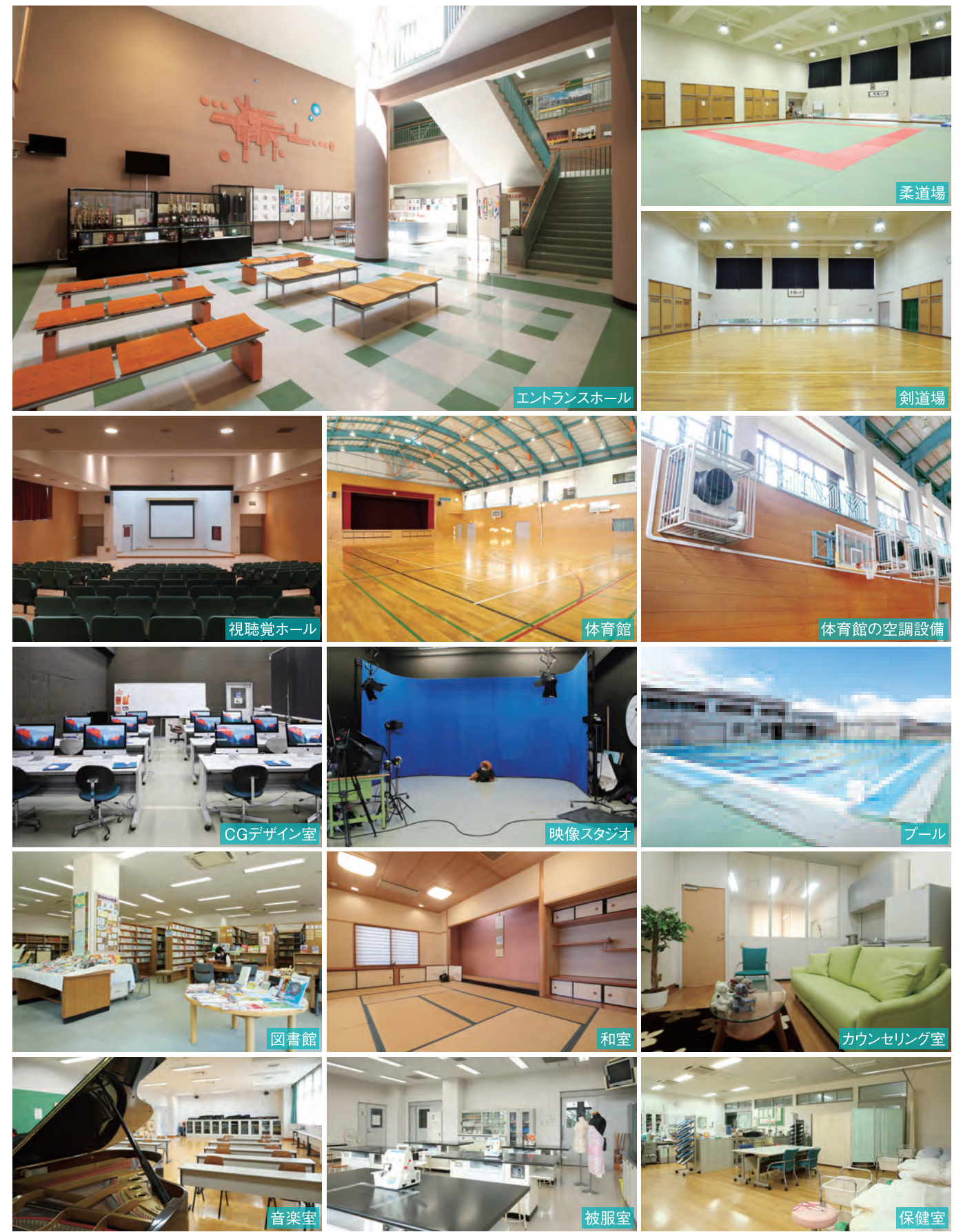


実技を伴う際に着用するユニフォームです。

施設
設備

FACILITIES

『モノづくりとコトづくり そして人づくり』を实践する抜群の施設環境。
全教室には冷暖房を完備しており、明るく清潔な環境で学習意欲を高めます。



CLUB ACTIVITIES

目標に向かって継続する努力は、自分を大きく成長させてくれます。
青春を共に過ごす仲間と、放課後の自分磨きの場所がここにあります。

運動系



■硬式野球部■



■ワンダーフォーゲル部■



■サッカー部■



■バスケットボール部■



■バドミントン部■



■バレーボール部■



■卓球部■



■陸上競技部■



■硬式テニス部■



■自転車部■



■ラグビー部■

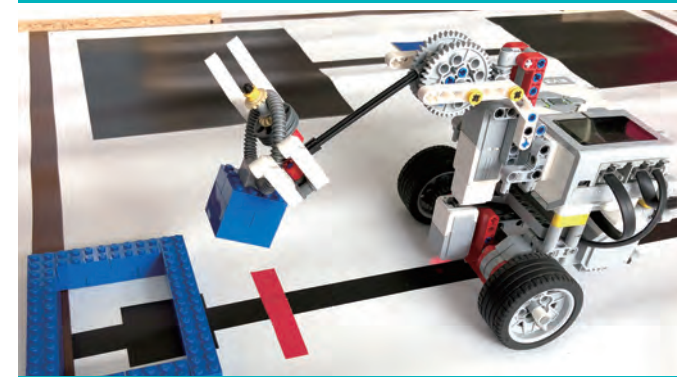
文化系



■マシクラフト部■



■吹奏楽部■



■ロボット部■



■ギター部■



■アニメーション部■



■茶道部■



■演劇部■



■eスポーツ部■



■コンピューター部■



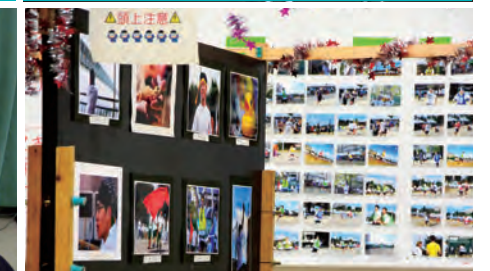
■天文部■



■鉄道部■



■美術・陶芸部■



■写真部■